

一、花と謳われ

原曲…もう歌しか聞こえない
幽夢 ~ Inanimate Dream

もう限界だ

悟った側から開き直って

強引上等

裏返る声も矮小になって俯いたまま朽ちるより良いや

照明をカット

影と見紛う程

蒼天

焦点合わせた先からすぐに歪んで

周辺精々手が届くぐらい

焦燥なんて小節一つで作り変えるよ

知らない続き歌うのは誰

この声よ何処へ

剥き出しの意志のままに長い夜駆けて静寂しじまを高らかに

この声よ響け

暗闇よ震え上がれ

絡めとる音色美しく惑わせ

想定外だ

弾んで笑って夢見心地で上昇

天井突き破るつもり？

太陽だつて気付けば見えなくなる筈なのに

いつまでも向日葵がぐるぐると

この声よ君へ

咲き乱れ罪を照らす

喜びを奏でやがて癒える傷に

この声よ続け

息絶え絶えでも進め

枯れる花だけではないことを知ったから

奪う視力の隅

ちらり映り証明する

此処にいる者の掌^{うな}転げ落ちて魔^{うな}されるんだよ

回る回る命の輝きのよう

零れた感情も集めて彩る

月明りを待つ

はなむぎ
餞の言葉を待つ

たそがれを越えてまにあつたから

この声よ何処へ

剥き出しの意志のままに長い夜駆けて静寂を高らかに

この声よ響け

暗闇よ震え上がれ

絡めとる音色美しく惑わせ

すれ違えば軌跡辿り花道誘われ

此処にいる者独りでは歌わせてくれないや

あーあ